

製品安全データシート

管理番号:N3-5279001

1. 化学物質等及び会社情報

製品名(商品名)	マスタピース水和剤
会社名	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
TEL	03-3245-6178
FAX	03-3245-6084
緊急連絡先	農業化学品事業部普及部
TEL	03-3245-6178
夜間緊急連絡先	高岡工場RC推進部/警備室(夜間・休日)
TEL	0766-26-0255
作成日	2013年10月21日

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

火薬類	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性	分類できない
急性毒性:経口	分類できない
急性毒性:経皮	区分外
急性毒性:吸入(ガス)	分類対象外
急性毒性:吸入(蒸気)	分類対象外
急性毒性:吸入(粉塵・ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1A
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生毒性(急性)	分類できない

水生毒性(慢性)	分類できない
【GHSラベル要素】	
絵表示又はシンボル	感嘆符
注意喚起語	警告
危険有害性情報 (予防策)	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 予防策については、「7. 取扱いおよび保管上の注意」、「8. 暴露防止 措置及び保護措置」を参照。 取扱い後、手、顔等をよく洗うこと。 粉じんの吸入を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護マスク等を着用すること。
(応急処置)	応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の処置」を参照。 眼に入った場合:水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着 用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が 生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ 、再使用する場合は洗濯すること。
(廃棄)	廃棄については、「13. 廃棄上の注意」参照。 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

区別	混合物
化学名	ショードモナスロデシアを有効成分とする農薬殺菌剤
組成情報	
《ショードモナス ロデシア HAI-0804株のデータ》	
CAS No.	なし
含有量	5E+9cfu/g 以上
《含水非晶質二酸化ケイ素のデータ》	
CAS No.	112926-00-8
化学式	SiO ₂ ·nH ₂ O
含有量	10%
化審法	官報公示整理番号 (1)-548
安衛法	なし(公表化学物質扱い)
《界面活性剤、その他の鉱物質微粉等》	
CAS No.	企業秘密のため記載せず
含有量	75~80%
化審法	登録済み
安衛法	登録済み

4. 応急措置

飲み込んだ場合	口をすぐ閉め、速やかに医師の手当てを受けること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪 い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診 断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯 すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易 に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場 合、医師の診断/手当てを受けること。

5. 火災時の処置

消火方法

- 1) 消火に際しては、通常の消火保護具を着用のこと
- 2) 水和性が高いので散水による消火が効果的である。着火源がある時は、強い放水は粉塵を形成し粉塵爆発のおそれがあるので、霧状散水により水和してから大量放水する。
- 3) 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

消火剤

霧状の水、炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤

6. 漏出時の措置

- 1) 風下の人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。
- 2) 回収作業の際は、保護具を着用し、風上で作業をする。保護具については「8.暴露防止措置」を参照のこと。
- 3) 漏出した製品が少量の場合は、湿らせたウエス等で飛散物を拭き取って容器に回収する。
- 4) 多量の場合、粉塵が飛散しない方法で掃き集め、できるだけ空容器に回収する。
- 5) 漏出した跡を多量の水で洗い流す。濃厚な溶液が河川等の公共水系に流れださない様に注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 1) 取扱う場合は、保護具着用のこと。保護具については、「8.暴露防止措置」参照のこと。
- 2) できるだけ粉立ちがないように取り扱い、粉塵の吸入・皮膚・眼・衣類との接触は避けること。
- 3) 取り扱い後は手・顔を洗う。
- 4) 産業衛生学会勧告の第3種粉塵(吸入性粉塵:2mg/m³, 総粉塵8mg/m³)として扱う。

保管

- 1) 直射日光のあたらない、冷暗所に保管する。
- 2) 酸化性物質、有機過酸化物と一緒に保管しない。
- 3) 飲食物と区別し、小児の手の届かない場所に保管する。

8. 暴露防止措置及び保護措置

《ジュードモナス ロデシア HAI-0804株のデータ》

厚生労働省管理濃度 設定されていない

許容濃度

《ジュードモナス ロデシア HAI-0804株のデータ》

産業衛生学会 粉末の場合: 第3種粉塵(許容濃度: 吸入性粉塵2mg/m³, 総粉塵8mg/m³)(2009年度)

《含水非晶質二酸化ケイ素のデータ》

産業衛生学会 吸入性: 2mg/m³ 総粉塵: 8mg/m³(2009年度)

ACGIH TLVs(TWA) 10mg/m³(2009年度)

設備対策

屋内使用の場合、発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。

取り扱い場所の近くにシャワー・洗眼器を設置する。

眼の保護具

ゴーグル型

手の保護具

ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

呼吸器用の保護具

防塵マスク

皮膚及び身体の保護具

材質を特定しないが、長袖・長ズボン。つなぎ服の着用を推奨する。

9. 物理及び化学的性質

外観等

形状

粉末

色

類白色

pH

5~8(農薬公定検査法)

溶解度

水和性は良好。(水)

見掛け比重

0.3~0.7(農薬公定検査法)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

通常の取り扱い条件下では、安定である。

11. 有害性情報

総括的な有害性情報

皮膚刺激性、経皮毒性は無いが、皮膚感作性がある。

刺激性

皮膚刺激性なし (ウサギ)

眼刺激性

弱い刺激性 (ウサギ)

感作性

皮膚感作性 感作性あり(モルモット(皮内注射))

急性毒性

急性経皮毒性 : 経皮毒性なし。(単回経皮投与、2g/匹投与(ウサギ))

《シュードモナスロデシア HAI-0804株のデータ》

急性経口毒性

: 単回経口投与、1E+8 cfu/匹(ラット) : 感染性、病原性、体内生残性
及び毒性はなし。

急性吸入毒性

: 単回経気道投与、1E+8 cfu/匹(ラット) : 感染性、病原性、体内生残性
及び毒性はなし。

12. 環境影響情報

環境影響情報

製品の水生毒性データは無い。

環境毒性

《ジュードモナス ロデシア HAI-0804株のデータ》

急性魚毒性

淡水魚に対する影響(コイ): 4.7E+10 cfu/Lで影響なし。(30日間)

ミンコ遊泳阻害毒性

淡水無脊椎動物に対する影響(オオミンコ): 4.7E+9 cfu/Lで影響なし。(21
日間)

13. 廃棄上の注意

- 1)保護具を着用のこと。保護具については、「8.暴露防止措置」参照のこと
- 2)製品及び空き袋等は、そのまま廃棄物焼却炉で少量ずつ焼却する。その際、「7.取り扱い及び保管上の注意」の項に記載の注意事項に留意して取り扱う。
- 3)空容器、取扱い器具を洗浄した水は、河川等に流さず、焼却等により処理する。
- 4)処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

- 1)荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
- 2)輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動搖、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

国連分類(クラス)

該当せず

国連分類(容器等級)

なし

国連分類(国連番号)

なし

海洋汚染物質

非該当

15. 適用法令

《農薬取締法》

該当

《毒物及び劇物取締法》

非該当

《消防法》

非該当

《労働安全衛生法》

通知対象物

非該当

表示物質

非該当

《化学物質管理促進法》

非該当

その他の情報

記載内容の問い合わせ先

農業化学品事業部普及部

(TEL:03-3245-6178 FAX:03-3245-6084)

記載内容は現時点での入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

(財)日本中毒情報センター

中毒情報センター中毒110番(大阪)

072-727-2499(終日)

中毒情報センター中毒110番(つくば)

029-852-9999(9~21時)